

風水害の正しい理解



大雨や強風などによる被害



外水氾濫

「外水氾濫」とは、河川の水で堤防が決壊したり、堤防からあふれたりして、市街地などに流れ込むことです。大量の泥水が一気に市街地へ流れ込み、洪水後も泥や流木が堆積するため、復旧に時間がかかります。

内水氾濫

「内水氾濫」とは、大雨のために平坦地の雨水がはけきらずに水が溜まり、土地や道路に水があふれることです。通常の雨であれば、下水道やポンプ施設によって水は河川に排出されますが、雨量が多く排水能力を超えた場合、内水氾濫が起きます。

■アンダーパスの冠水

「アンダーパス」とは、道路や鉄道などの地下をくぐって抜ける道路のことで、周りの地面に比べて路面の高さが低くなっています。局地的大雨時には急速に水位が上がり、冠水するおそれがあります。冠水時に誤って車で進入すると、エンジンが停止して立往生してしまうので、非常に危険です。

車の場合、国土交通省の「道路冠水注意箇所マップ【東京都】」によると、立川市では次の2か所で冠水のおそれがあります。豪雨時には、アンダーパスは避けて、安全な道路へ迂回しましょう。



- ① 都道 主要地方道 16号 立川立体
- ② 都道 主要地方道 43号 玉川上水立体

■土砂災害

土砂災害とは、「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つの被害を指します。それぞれの被害が予想される箇所を「土石流危険渓流」「地すべり危険箇所」「急傾斜地崩壊危険箇所」といいます。

立川市には右記の地域に土砂災害警戒区域などが存在します。

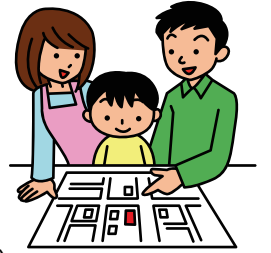
具体的な場所は「立川市水害ハザードマップ」、または「立川市土砂災害ハザードマップ」をご覧ください。

	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
富士見町三丁目	○	○
富士見町四丁目	○	○
富士見町五丁目	○	○
柴崎町一丁目	○	—
柴崎町四丁目	○	○
柴崎町六丁目	○	○
錦町五丁目	○	○
錦町六丁目	○	○

日頃の備え



- 「立川市防災マップ」を活用し、自分の家から避難所までの経路を実際に歩いてみましょう。特に氾濫しやすい河川や土砂崩れなどの危険な場所は、「立川市水害ハザードマップ」や「立川市土砂災害ハザードマップ」で確認しましょう（立川市公式HPでも公表しています）。
- 家族でどの避難所に集まるか話し合っておきましょう。
- ラジオの電池のほか、食料や水などの備蓄も点検しておきましょう。（⇒P5参照）
- 普段からテレビやラジオで、最新の気象情報や災害情報を得ておきましょう。（⇒P12参照）
- 非常用持出品を準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。



- マスク
- 水
- 非常食
- 電灯
- 消毒液
- 体温計
- ラジオ
- 救急や衛生用品、常備薬
- ヘルメット
- 現金、身分証明書 など

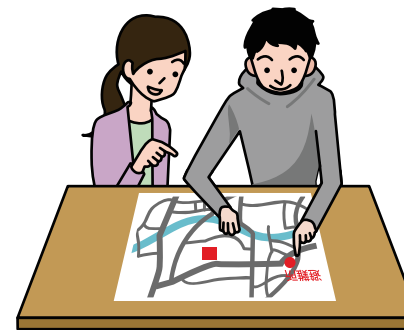


安全に避難するために



■事前に準備を

普段から避難所までの安全な経路などを確認しておきましょう。



■持ち物は最小限に

荷物は背負い、両手が使えるようにしましょう。



■深さに注意

歩行可能な水深の目安は、ひざ下くらいまでです。水の流れが速い場合は、浅くても危険です。



■足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなります。長い棒などを杖代わりにして、側溝やマンホールに気をつけましょう。



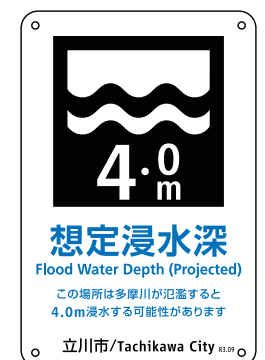
■隣近所で声を掛け合って

避難は集団で行動することが理想です。普段から近隣の人や市民防災組織と話し合っておきましょう。



■想定浸水深表示板

多摩川と残堀川の氾濫により予想される浸水の度合いを表す想定浸水深表示板を設置しています。



風水害の正しい理解

風水害の正しい理解

警戒レベルをもとにとるべき行動



日頃から自宅の災害リスクを把握し、いつ、どのような行動をとるべきか確認しておきましょう。

次の5段階の警戒レベルを使って避難情報などが発令されます。周辺の様子に気を配り、早めに避難しましょう。

警戒レベル	状況	避難情報など	住民がとるべき行動
5	災害発生または切迫	緊急安全確保 (市が発令)	命の危険 直ちに安全確保!
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	避難指示 (市が発令)	危険な場所から全員避難する
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 (市が発令)	危険な場所から高齢者等は避難する
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁発表)	ハザードマップなどで、自ら避難行動を確認する
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁発表)	最新の気象情報を確認し、災害への心構えを高める

(注) 緊急安全確保は、市が災害の状況を確認に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。発令の順番や基準は、あくまでも目安です。避難情報がなくても身の危険を感じる場合は、避難を開始してください。

★外国語14言語に対応した警戒レベル表をみることができます (内閣府HP)。

Evacuation Information (Revised)

Scan to get this information in your own language.

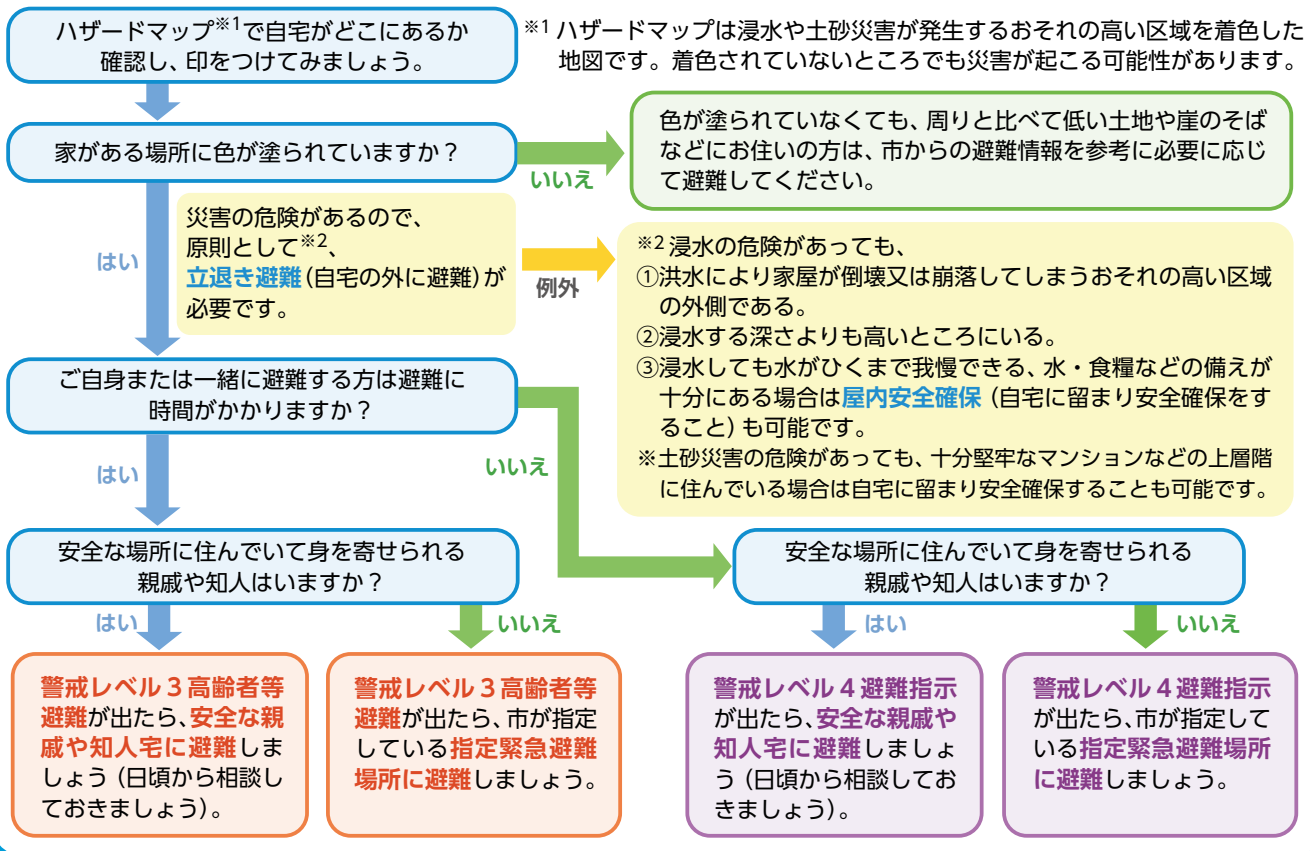
English	简体中文	繁體中文	한국어	Español
Portugués	Tiếng Việt	ភាសាខ្មែរ	ภาษาไทย	മലയാളം
Tagalog	Bahasa Indonesia	नेपाली भाषा	Монгол хэл	QR Translator

## 避難行動判定フロー



あなたがとるべき避難行動は？

**必ず取組みましょう**



# さまざまな防災対策



## 災害時の連絡方法



### 安全な場所から家族に安否を伝える災害用伝言板 (携帯電話事業者各社)

大規模な災害が発生した際、携帯電話事業者各社において提供される伝言板です。*ご利用方法につきましては、携帯電話事業者各社のホームページなどをご覧ください。



## 文字による連絡方法

### 災害用伝言板「web171」

- 災害などの発生時、被災地域の住居者がインターネットを經由して災害用伝言板「web171」にアクセスし、電話番号をキーとした伝言情報 (テキスト) を20件まで登録できます。
- インターネット接続が可能な端末 (携帯電話・スマートフォン・パソコン) で利用可能です。
- 登録された伝言情報は、電話番号をキーとして全国 (海外含む) から確認でき、追加の伝言を登録することも可能です。



## 音声による連絡方法

### 災害用伝言ダイヤル 171 (音声)

地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

#### 使い方

